

生殖補助医療（先進医療）費助成制度の対象治療等について

①保険適用の治療（体外受精・顕微授精等の生殖補助医療）

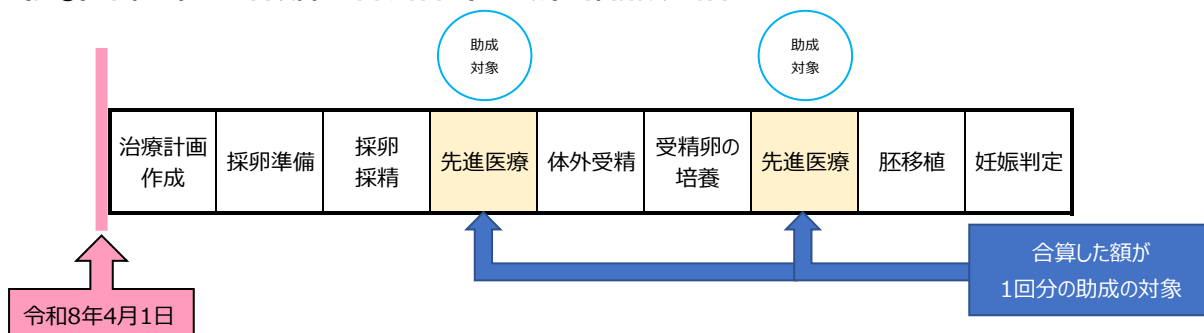
7割 (保険者（健康保険組合等）が負担)	3割 (自己負担)
-------------------------	--------------

②先進医療

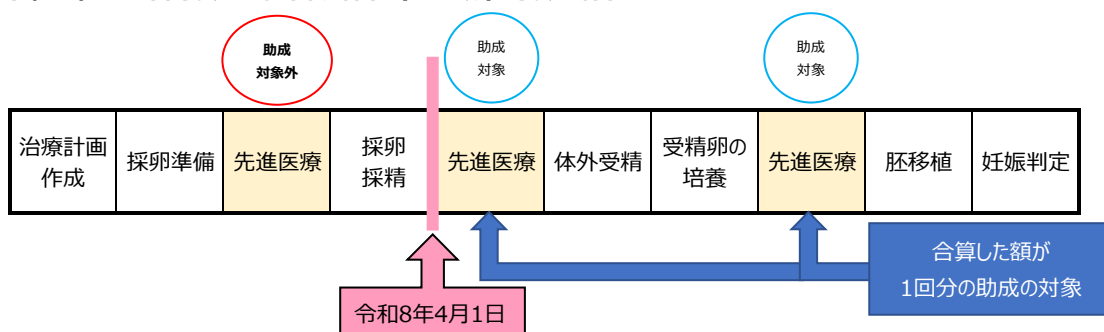
10割 (自己負担)

①と併せて行った②の費用の
10分の7（上限5万円、1,000円未満切捨て）を助成
（生殖補助医療が保険適用外の場合は助成対象にならない）

（例①）令和8年4月1日以降に1回の治療（1クール）を開始した場合



（例②）令和8年4月1日をまたいで1回の治療（1クール）をした場合



（例③）令和8年4月1日以降に1回の治療（1クール）を開始し、治療終了前に市外に転出した場合

・安城市で助成を受ける場合は、転出日の前日までに申請してください。市外に転出後は申請できません。

